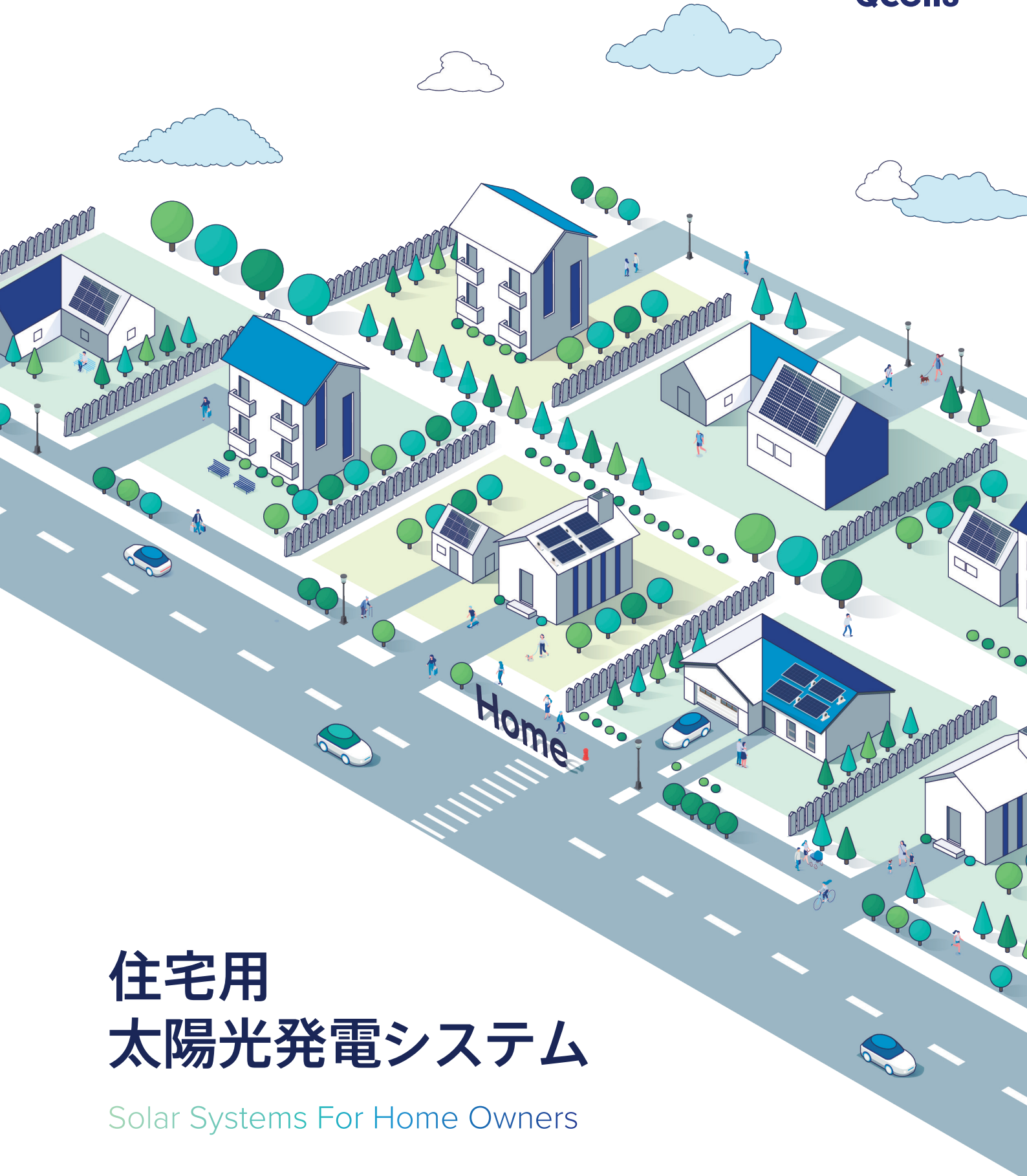


qcells



住宅用 太陽光発電システム

Solar Systems For Home Owners

電気を「つくる・ためる・かしこくつかう」 新しい暮らしへ

Contents

Introduction

- 電気を「つくる・ためる・かしこくつかう」
新しい暮らしへ P.02
- About Qcells (Global/Japan) P.04

Products

- Qcells テクノロジー
 - Q.ANTUM DUO Z テクノロジー P.06
 - Q.ANTUM DUO/Q.ANTUM テクノロジー P.07
- 太陽電池モジュール
 - 製品ラインナップ P.08
 - QCPVの特長 P.10
- 蓄電システム
 - ハイブリッド蓄電システムとは P.12
 - 製品ラインナップ P.13

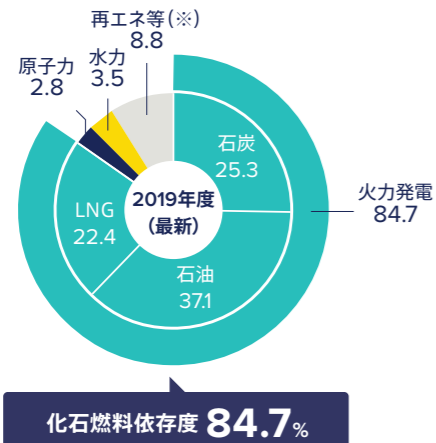
Others

- 「保証」 P.18
- 架台 & 設置金具 P.20
- Q VOICE 一お客様の声 P.22
- 製品仕様 P.24
- HEMS 対応機器 P.31

電気代は年々上昇傾向、これからも上がり続けることが予想されます

日本のエネルギー供給構成

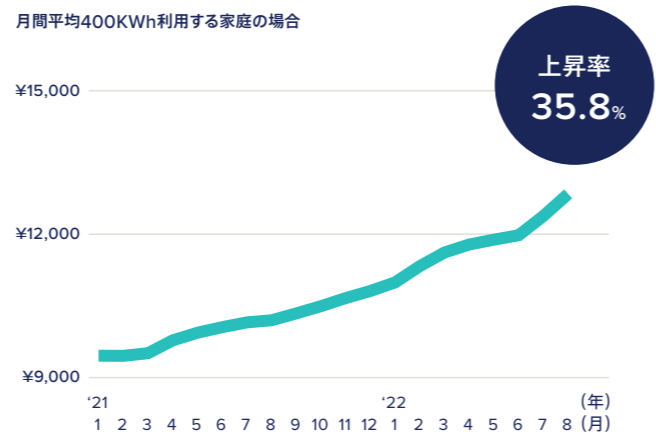
日本の発電は約8割が火力発電で、その主な原料は「石油」「石炭」「液化天然ガス(LNG)」などの化石燃料です。日本はそれらの調達を海外からの輸入に依存しており、輸入価格や輸送にかかるコストは電気料金にも影響します。



(出典) 資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2019年度確認値
※四捨五入により合計が100%にならない場合あり
※再エネ等(水力除く地熱、風力、太陽光など)は未活用エネルギー含む

直近1年半の電気料金推移

化石燃料は将来枯渇化が見込まれるエネルギーです。それに加え、2022年3月以降のウクライナ情勢で、電気料金は、過去5年間の最高水準を記録しました。発電燃料の供給減に伴い、さらなる電気料金の高騰とその長期化が予想されます。

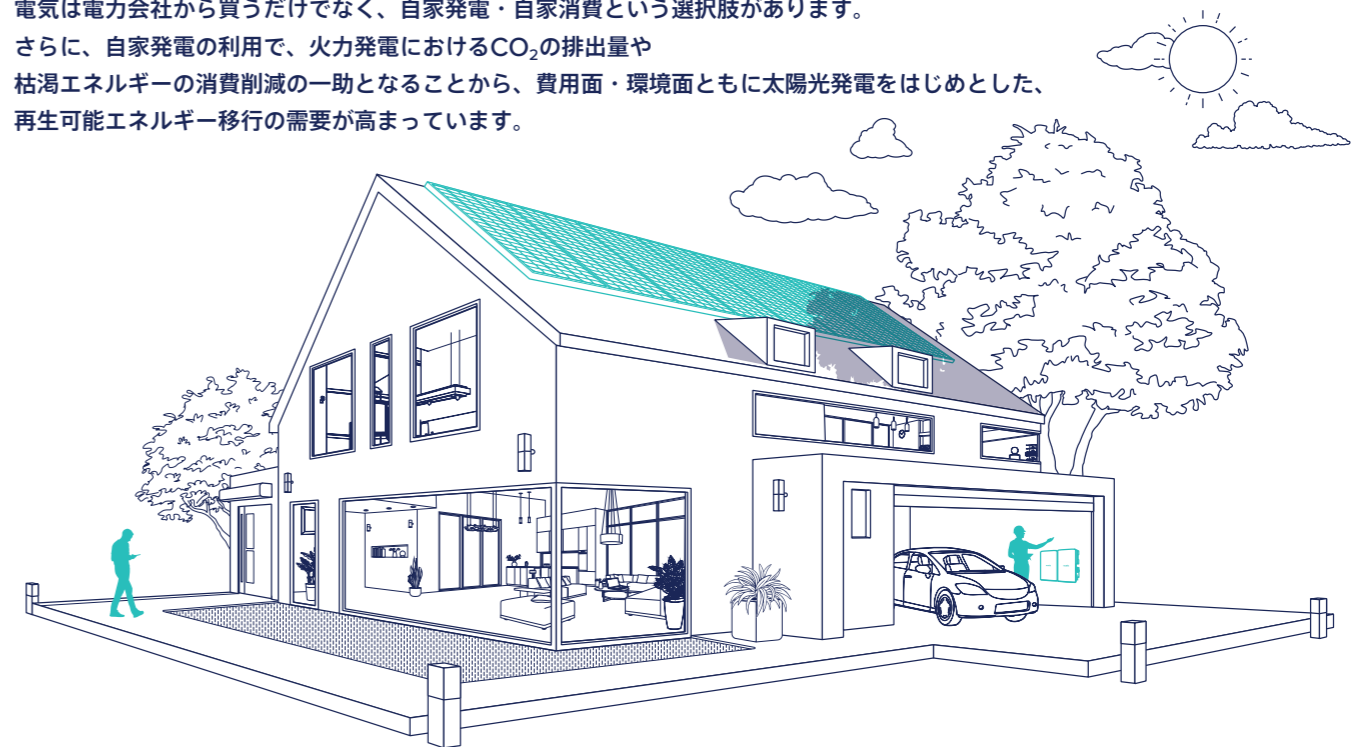


(出典) ※各地域電力会社「従量電灯B」料金単価より

再生可能エネルギーの主力電源化へ

電気は電力会社から買うだけでなく、自家発電・自家消費という選択肢があります。

さらに、自家発電の利用で、火力発電におけるCO₂の排出量や枯渇エネルギーの消費削減の一助となることから、費用面・環境面ともに太陽光発電をはじめとした、再生可能エネルギー移行の需要が高まっています。



再生可能エネルギー導入推進の動き

1.再生可能エネルギー導入目標設定

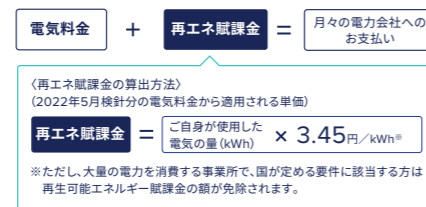
資源エネルギー庁は、2030年度の温室効果ガス46%削減に向けて、再生可能エネルギー導入目標36~38%を掲げています。



(出典) 資源エネルギー庁2022年4月発表「今後の再生可能エネルギー政策について」

2.再生可能エネルギー発電促進賦課税の徴収

今はまだコストの高い再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が買い取り、供給することを支えているのが「再生可能エネルギー発電促進賦課税(再エネ賦課金)」です。電力会社から購入する電気に上乗せされる形で集められ、再生エネルギーの普及促進に利用されています。

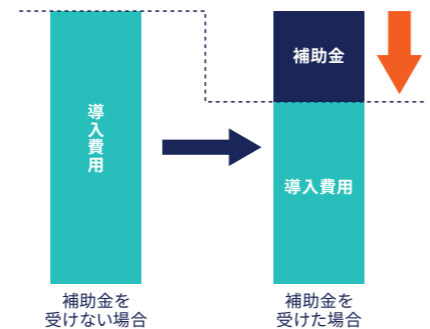


(出典) 資源エネルギー庁HP「なっとく再生可能エネルギー」より抜粋
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saie/enecho/surcharge.html

3.補助金の整備

太陽光発電システムは、国や各自治体から補助金を受けることができる場合があります。活用ができれば初期費用を抑えた導入が可能になります。

制度活用イメージ

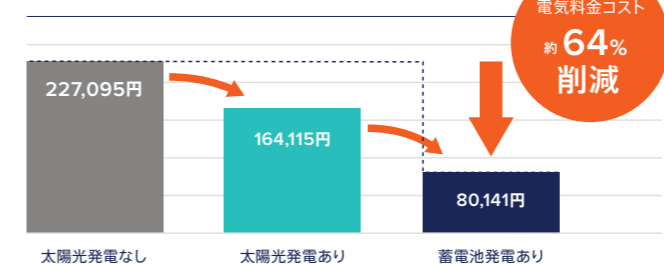


太陽光発電・蓄電池の導入効果とメリット

1.電気料金コストカット

太陽光発電・蓄電池の導入で、でんきをつくり・ため・かしこくつかうことができれば、地球とお財布に優しいエネルギー利用が可能です。

年間電気料金比較(当社調べ)



2.災害時の非常電源になる

停電が起こると、家電が使えず不便だけでなく、冷蔵庫の食材を傷めたり、冷暖房が使えないことによる健康被害のリスクも高まります。台風や地震などの災害はいつ起こるかわからないからこそ、十分に備えておくことが大切です。

今後30年以内にM6.7~8.5の地震被害が想定される地域



About Qcells (Global/Japan)

Global Network

Qcellsは、グローバルな研究開発および製造現場と緊密に連携しています。
製造、販売、およびサポートにおいて最高レベルの品質を提供します。

- **2ヶ国** 本部
- **4ヶ国** モジュールテストセンター
- **4ヶ国** 生産ネットワーク
- **60+ヶ国** 営業ネットワーク

韓国・ソウル
(Global Executive HQ)
ドイツ・タールハイム
(Technology & Innovation HQ)

ドイツ、韓国、マレーシア、中国

韓国、マレーシア、中国、米国

ヨーロッパ全域、北米、アジア、南米、
アフリカ、中東



Global Leading Company

Qcellsのブランドは、テクノロジー、品質、さらには安全な金融性も認められています。
Qcellsは常に最高品質とサービスの提供のために努力しています。

Top Brand



TOP Brand PV
9年連続選定 (EU)



LIFE & LIVING Award
3年連続



Highest Reputation Award
2年連続

Top Quality



TOP Performer
7年連続



QCPV
Quality
Controlled PV

Top Technology



Intersolar Award
Q.PEAK RSF L-G4.2 (2017)
Q.PEAK DUO-G5 (2018)



Solar+Power Award
Q.PEAK DUO-G5 (2017)
Q.FLAT-G5 (2018)

Top Bankability



BNEF Top-tier Bankability
Top-tier company since 2012

Marketing Leadership

Market Share
Residential USA
NO.1

NO.1
Market Share
住宅用・産業用での
トップ市場シェア
(米国)

Fact & Figure

Qcellsは財務的安定性を持つ、グローバルエネルギーソリューションプロバイダーです。

Global

生産ネットワーク4ヶ国による
モジュール生産能力(2021)

12.4GW

総売上(2021)

33億9,300万ドル

Japan

モジュール累計出荷量(2021)

7.0GW

住宅用販売棟数(2021)

100,000棟

About Hanwha Qcells Japan 1984—現在

国内最高レベルの保証体制+サポート体制で、もしものときも安心です。

Qセルズならではのサポート体制

① サービスサポート拠点

関連協力会社サービスネットワーク
450ヶ所
物流拠点
9ヶ所

② セールスサポート

営業拠点
5ヶ所
Q.PARTNERS (販売店支援プログラム)
1,800社

③ テクニカルサポート

販売支援ツール
Q.CAST2
施工サービス
施工ID研修制度



クアンタム デュオ ゼット
NEW Technology of Q.ANTUM DUO Z

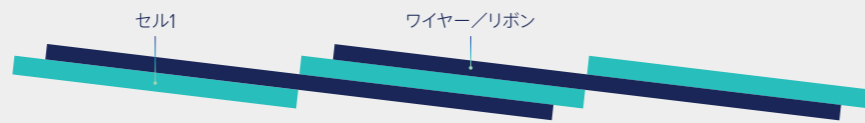


Zero-Gap(ゼロギャップ)技術

セル同士の間隔をなくすことで高密度な状態を作り出し高出力・高効率を実現する技術。
Zero-Gap(ゼロギャップ)技術により、スペースが発生するため、同一サイズのモジュールに比べより多くのセルが搭載可能となり、さらに高出力と高効率を実現します。

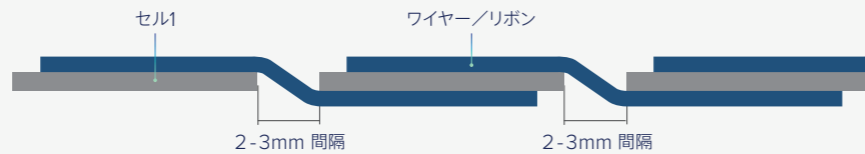
Zero-Gap (ゼロギャップ)技術

セルを少し斜めにするにより、ストレスなくセルを配線する技術。さらにセル同士の間隔をなくし、密度も向上。



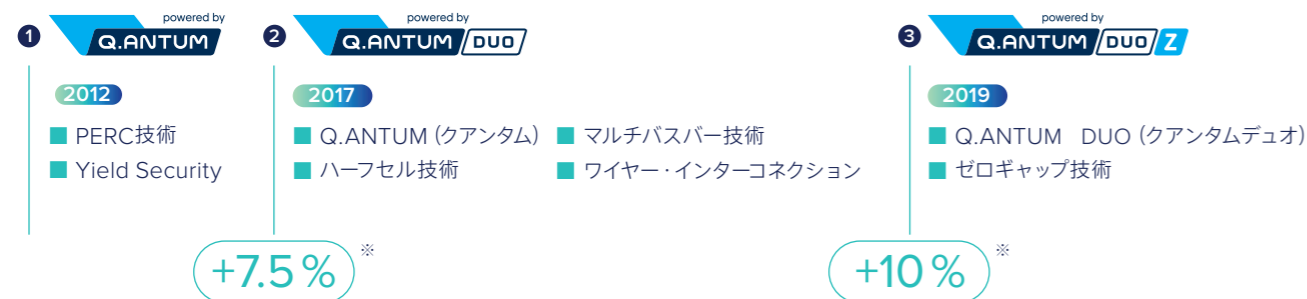
従来の方式

セルの表面をワイヤーで配線するため、2-3mm程度の間隔が生まれ、セルの密度が低い。



クアンタム
Q.ANTUM テクノロジーの進化は続く

Qcellsは現在、世界の太陽光発電システムの主流となっているPERC技術を世界で初めて商用化した企業です。太陽光発電技術のパイオニアとして、QcellsはPERC技術時代をリードしてきました。PERCと独自のYield Security機能を組み込むことにより、独自のQ.ANTUMテクノロジーを開発しています。Qcellsは技術革新を続け、Q.ANTUMからハーフセル技術のQ.ANTUM DUO、ゼロギャップ技術のQ.ANTUM DUO Zに進化し続けています。全ての技術は世界最高レベルの品質検査認定のQPVにより製品の性能と信頼性が立証されます。



※標準PERCテクノロジー太陽光発電モジュールと比較した出力差

クアンタム デュオ
Technology of Q.ANTUM DUO



3つの先端技術を採用し、太陽光をより効率的に発電

- ・ 8年以上蓄積されたR&D経験
- ・ Intersolar PV アワード2018を受賞
- ・ 7GW超のQ.ANTUM DUOモジュールを量産
- ・ PVEL Top Performer 2019/2020年に選定

01 発電ロスを少なくする「ハーフセル技術」

セルを半分にする事で電流が小さくなり、発電ロスを削減した技術。電流の流れる距離を短くした太陽電池モジュール設計との組み合わせで出力を向上。

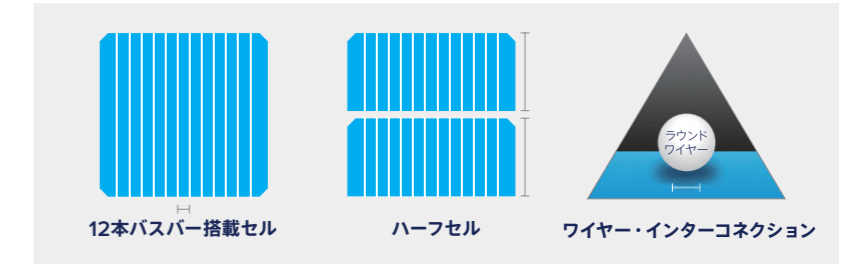
02 電気抵抗による損失を抑える「バスバー技術」

バスバー間の距離を縮めて電子をより多く集めるとともに、電流の通り道を増やすことで抵抗損失を抑え、出力を向上。

03 太陽光の影を減らす「ワイヤー・インターコネクション技術」

フラットリボンの代わりにラウンドワイヤーをバスバーに採用することで、電極の幅と合わせて影の影響を受ける部分が75%削減され、出力が向上。さらにラウンドワイヤーによる反射光の効果で太陽電池モジュールの光をより活用。

Q.ANTUM DUO Technology



従来の方式



クアンタム
Technology of Q.ANTUM



高い発電量を実現するQ.ANTUMテクノロジー & Qセルズ独自のセル技術

- ・ 13年以上蓄積されたR&D経験
- ・ 4億枚超のQ.ANTUMセルを量産
- ・ 8年以上の生産実績
- ・ 23GW超のQ.ANTUMモジュールを量産

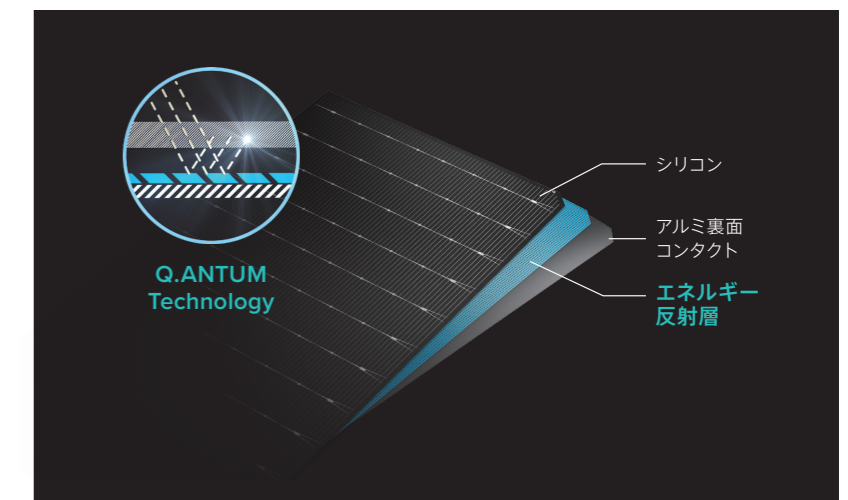
01 太陽光を無駄なく活用するためのテクノロジー

札幌よりも高緯度で照度の低い北緯51度のドイツ・ライプチヒで研究開発されたQセルズ。そのため、太陽光が弱い時期や曇りの日でも、光を最大限に活用する技術が生まれました。

02 受け止めた太陽光を効率良く発電するセル技術※特許

特殊なナノレイヤーを形成するQ.ANTUMセルを開発。従来は無駄になっていた太陽光のエネルギーを、セル裏面の層で閉じ込めることで、エネルギーの活用度を高め、より多くの電気を生み出します。

※ Q.ANTUM技術を構成する要素の1つで、欧州特許EP2,220,689を保有



太陽電池モジュール

製品ラインナップ

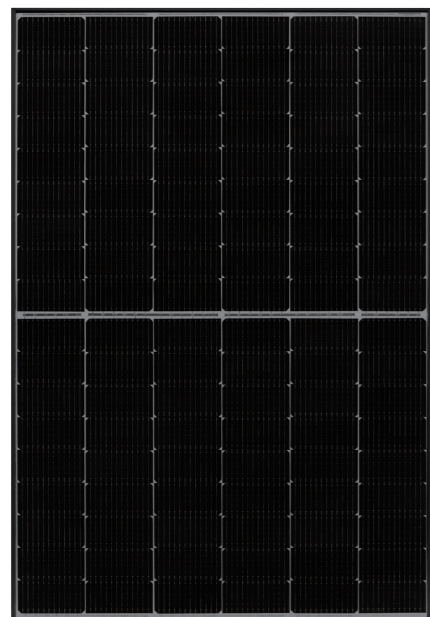
Q.PEAK DUO G11シリーズ

セル同士の間隔をなくしたゼロギャップ技術を搭載、モジュール変換効率20%を超える高効率実現、優れた低照度特性と温度特性で、より高い発電量を実現。

NEW

住宅用で最高レベルの発電力

Q.ANTUM DUO Zテクノロジー搭載モデル



Q.PEAK DUO
M-G11 400

仕様

公称最大出力 (Pmax)*	400W
寸法 (横×高さ×奥行)	1,134 × 1,692 × 32 (mm)
モジュール変換効率	20.8%
質量	20.9kg

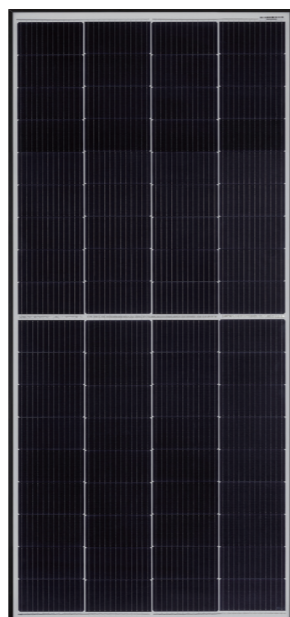
単結晶 Q.ANTUM ハーフセル搭載
※許容差 +5W/-0W



NEW

さまざまな屋根サイズにフィット

Q.ANTUM DUO Zテクノロジー搭載モデル



Q.PEAK DUO
S-G11 265

仕様

公称最大出力 (Pmax)*	265W
寸法 (横×高さ×奥行)	766 × 1,692 × 32 (mm)
モジュール変換効率	20.4%
質量	14.8kg

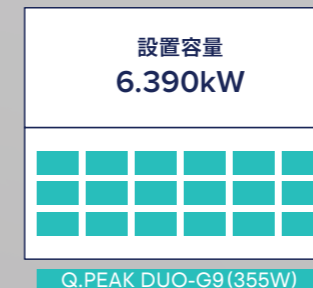
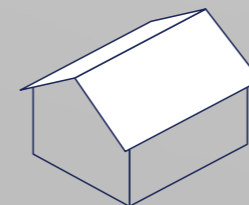
単結晶 Q.ANTUM ハーフセル搭載
※許容差 +10W/-0W



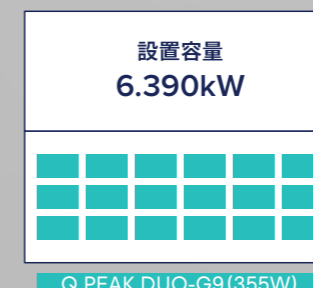
各太陽電池モジュールを組み合わせて、さまざまな屋根に設置が可能。

切妻屋根

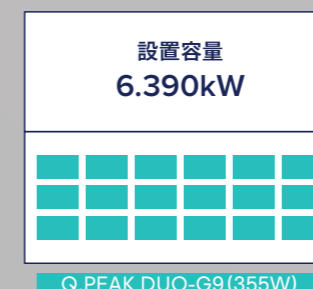
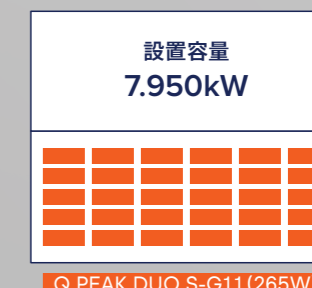
切妻屋根のスペースには従来のQ.PEAK DUO-G9シリーズより高効率のQ.PEAK DUO-G11シリーズで設置容量を最大化



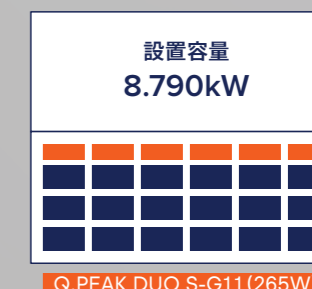
設置容量
12.7%
UP!



設置容量
24.4%
UP!

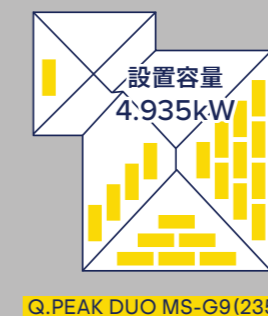
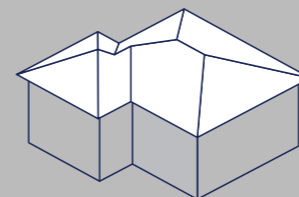


設置容量
37.6%
UP!

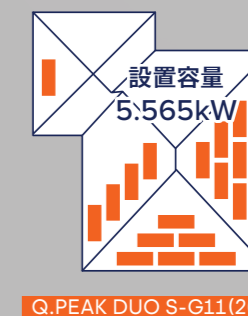


複合寄棟屋根

複雑な形状でも、従来のQ.PEAK DUO-G9シリーズより高効率のQ.PEAK DUO-G11シリーズで設置容量を最大化



設置容量
12.8%
UP!



※上記配置例はイメージです。屋根の面積、形状などにより組み合わせの枚数、配置は異なります。

独自の品質管理プログラム

ドイツで開発されたすべてのQcells製品は、4レベルの厳格な品質プログラムを行います。

Level 1

認証

モジュール製品としての基本要件

品質を証明する様々な機関 (IEC, UL, MCS など) の認証を取得し、太陽電池モジュールの電気及び構造的安定性をグローバル基準に合わせます。

Level 2

発電量保証

セル単位の品質保証

セルおよびモジュールの性能低下を最小限に抑えるため、Qcells Yield Securityを通して長期的な信頼性を確保できます。



- アンチPIDテクノロジー
- アンチLeTIDテクノロジー
- ホットスポットプロテクト
- トレーサビリティ

Level 3

Quality controlled PV (QCPV)

業界初認定「品質検査認証」

世界的な太陽電池モジュールの認証機関である、TÜV Rheinland (テュフラインランド) が新たに設計した品質設定プログラムで、世界最高レベルの信頼性試験を行い、性能と信頼性を認定されました。

Level 4

内部品質管理プログラム

さらに厳しい品質テスト

QcellsのInternal Quality Test Program (IQT) は、すべての製品が高品質の標準を満たしていることを保証します。製品品質のリーダーとして、Qcellsは世界標準より最大3倍の厳しいテスト基準を適用しています。

世界最高レベルの「品質検査認証」QCPV



① 過酷な環境ストレステスト

- 製造前および変更後の40回を超える個別のテストを実施。
- IEC規格の3倍に値するテスト品質基準。

② 生産モニタリング

- TÜV Rheinland (テュフラインランド) の専門家がQcellsの工場に常駐。
- 生産中のQセルズの太陽電池モジュールをランダムに選択し検査。

③ 部材試験

- 重要構成品の部材を供給するサプライヤーを定期的にチェック、管理。
- 部材のランダムサンプリング検査。

蓄電システム

ハイブリッド蓄電システムとは

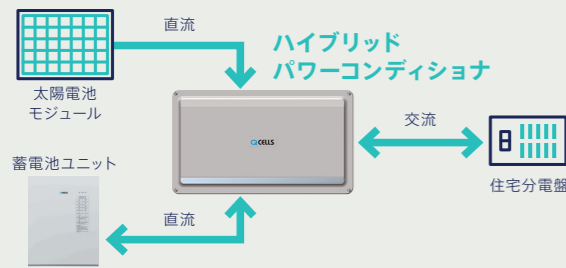
エネルギーのロスが少ない、ハイブリッド蓄電システム

通常、太陽光発電システムと蓄電システムを同時に運用する場合は、それぞれのシステムに「パワーコンディショナ」が必要です。

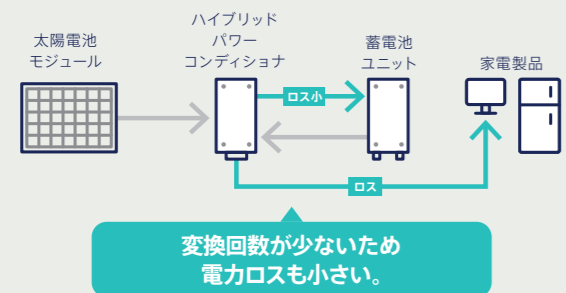
ハイブリッド蓄電システムなら、蓄電システム側のパワーコンディショナと太陽光発電システム側のパワーコンディショナが1台に。エネルギーのシステムロス削減と省スペース化を実現します。

HYBRID ハイブリッドタイプ

蓄電システムと太陽光発電システムのパワーコンディショナが一体化したタイプ。

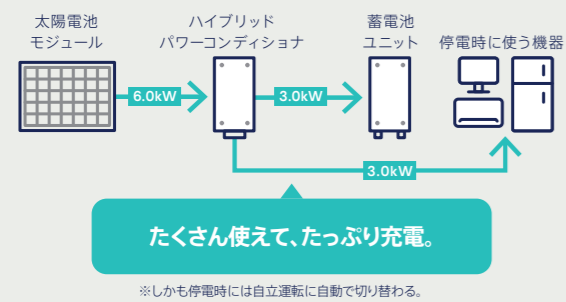


電力ロスの比較



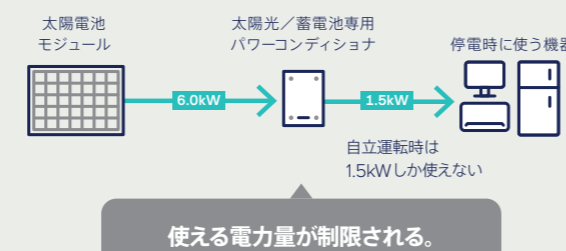
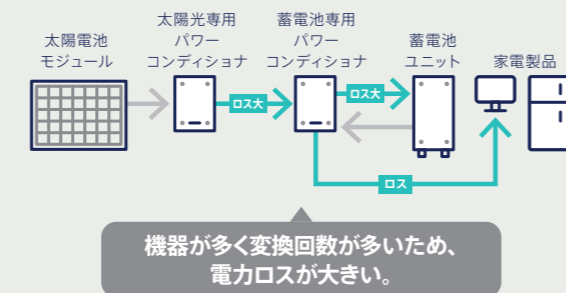
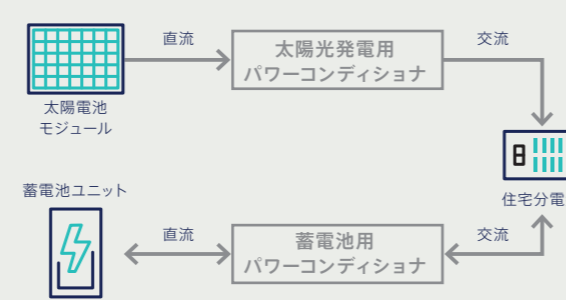
停電時の電力量の比較

※数値はイメージです。



STANDARD 一般タイプ

既存の太陽光発電専用パワーコンディショナと、蓄電池用パワーコンディショナの2台を使用。



製品ラインナップ

NEW POWER DEPO® H

全負荷型 屋外設置

家庭用高機能ハイブリッド蓄電池

自家消費型住宅用太陽光発電システム向け 大容量・見守りサービス・寒冷地対応

蓄電池ユニットの情報

寸法 (横×高さ×奥行)	840×380×1,200 (mm)
質量 (蓄電池ユニット1台あたり)	約230kg
蓄電池容量	12.8kWh
蓄電池ユニット2台使用	—

運転時の情報

200V機器対応	○
自立運転時の定格出力*	6.0kVA

※100V/200Vで使用できる電力が異なります。



特長

❄️ 寒冷地対応もバッチリ!

-20℃~+45℃でも充電・放電することができます。

※一部の地域では設置できない場合があります。詳細は販売店へお問い合わせください。

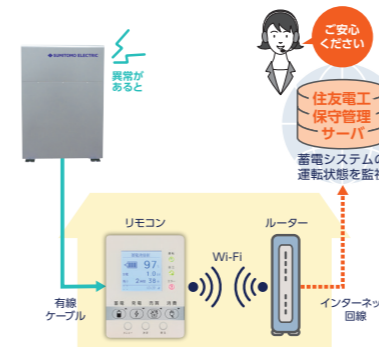


👁️ 安心の見守りサービス

15年間無料*1の見守りサービス

インターネットを介して、常に蓄電システムが安全に動いていることを見守っているため、万が一のときにも安心してご使用いただけます。

■遠隔見守りサービスの仕組み



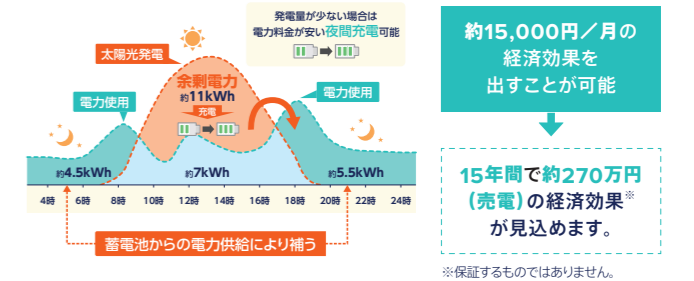
※1 設置から起算して15年間無料。
※ ルーター、インターネット回線接続費用は、別途お客様負担となります。
※ 遠隔見守りサービスでは、蓄電池本体に関するエラーを検知したときのみ、お客様へ連絡いたします。通信途絶やお客様のネットワーク環境に関する事など、蓄電池本体以外の不具合に関しては連絡いたしかねますので、ご了承ください。

📈 電気代削減

太陽光パネルと併用

昼間の太陽光発電による余剰電力を使用することで、月々の電気料金を大幅に削減することができます。

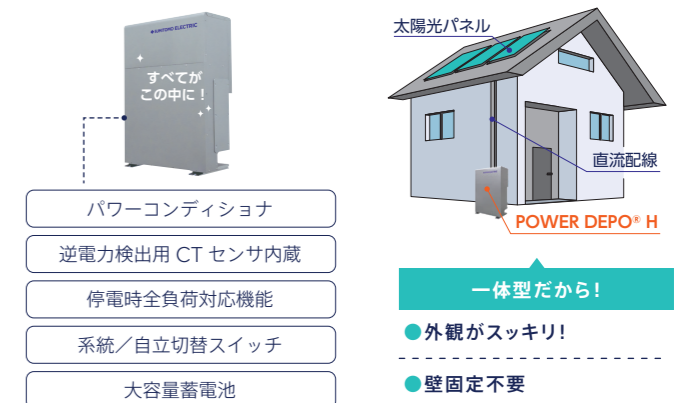
■ 6kW 太陽光発電システム・5人家族を想定した発電・消費電力パターン



🏠 外観もスマート

一体型だから壁固定不要

一体型で設置機器や直流の配線が少なく、壁固定が不要のため、外観をスッキリと見せられます。



蓄電システム

製品ラインナップ

EIBS7 (アイビス セブン)

全負荷型 屋内外設置

ハイブリッド蓄電システム

オール電化・卒 FIT 対策にも最適

蓄電池ユニットの情報

寸法 (横×高さ×奥行)	580×1070×370 (mm)
質量 (蓄電池ユニット1台あたり)	約130kg
蓄電池容量	7.04kWh
蓄電池ユニット2台使用	○

運転時の情報

200V機器対応	○
自立運転時の定格出力*	200V時 5.5kVA 100V時 2.75kVA

*100V/200Vで使用できる電力が異なります。



ハイブリッドパワーコンディショナ

蓄電池ユニット

特長

大容量

1日2サイクル・28kWh相当の電力を使用可能

蓄電池ユニットのサイクル期待寿命12,000サイクルにより、太陽光発電の充電に加え、深夜の割安な電気もためて朝方に消費することで1日に2サイクル・28kWh相当*の電力使用も可能です。

*蓄電池ユニット2台設置し、運転モードを「スマートモード」(1日に2回充電電を繰り返す)に設定した場合、1台設置の場合は、14kWh相当
*実効容量は、2台設置の場合26kWh、1台設置の場合13kWh

スマホで簡単

スマートフォンなどで運転状態を確認可能

発電状況の確認や運転モードの設定は、ご家庭のLANで実施主様のスマートフォンやタブレットでの操作を標準といたしました。

システム構成

レディ型で蓄電池ユニットの後付け・増設が可能

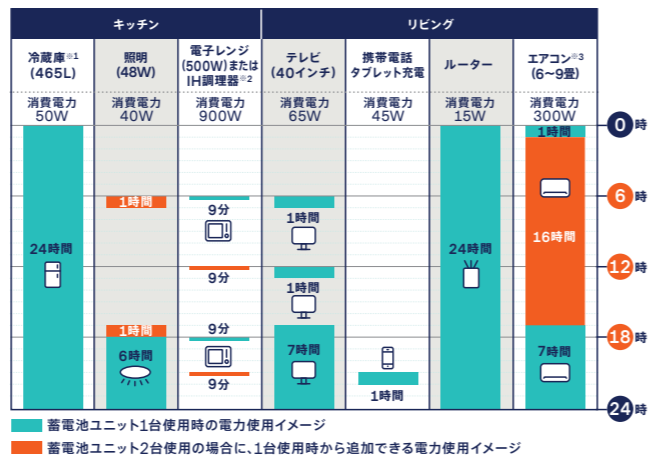
蓄電池ユニットに充放電機能を内蔵。蓄電池ユニットの後付・増設が可能で、単機能蓄電システムとしての使用も可能です。

停電時の使用電力

大容量で万が一でも安心

蓄電池ユニットが満充電状態、太陽光の発電が全く無い状態で、夏場の停電を想定した1日に使用可能な電化製品の使用可能時間シミュレーション例 (ダイヤゼブラ電機試算 ※旧田淵電機)

- *1 冷蔵庫 運転時150W、待機時25W(運転時間:待機時間=1:4)
- *2 IH調理器消費電力:左IHヒータ 3000W(10段階調節)を900Wで使用
- *3 エアコン(冷房)100~900W(運転時間:待機時間=1:3)、(暖房)100~2000W
- * ただし、電化製品の消費電力が自立運転時最大出力を超える場合は、自立運転出力は停止します。
- * 天候や日射量による発電量の変動に応じて使用できる電力も変動します。
- * 冷蔵庫やエアコン、洗濯機などモーターで動作する機器や運転開始時に大きな電流が流れる温水洗浄便座などは使用できない場合があります。
- * 自立運転時、すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器、パソコン・ワープロなどの情報機器、その他途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器は接続しないでください。



システム構成機器

EIBS7(蓄電池ユニット 1台の場合)

*表示モニター「ZDIS-27ENB01」は、オプションです。



EHF-S55MP3B

EOF-LB70-TK

ZDIS-27ENB01

FPCD-DS63M6

SAVeR-H (セイバー エイチ)

全負荷型 屋内外設置

ハイブリッド蓄電システム

オール電化・卒 FIT 対策にも最適

蓄電池ユニットの情報

寸法 (横×高さ×奥行)	552×596×200 (mm)
質量 (蓄電池ユニット1台あたり)	約75kg
蓄電池容量	5.6kWh
蓄電池ユニット2台使用	○

運転時の情報

200V機器対応	○
自立運転時の定格出力*	200V時 3.0kVA 100V時 1.5kVA

*100V/200Vで使用できる電力が異なります。



ハイブリッドパワーコンディショナ

蓄電池ユニット

特長

大容量

大容量ダブルバッテリーも可能

高性能リチウム蓄電池で、蓄電池ユニット容量が5.6kWhのシングルバッテリーと、2個付けの11.2kWhダブルバッテリーの2タイプから選べます。

高電力

200V機器*にも対応

テレビ、冷蔵庫などの電化製品に加え、エアコンやIH調理器などの200V機器も利用できます。
*機器によっては稼働できないものもあります。

システム構成

屋外設置、塩害地域での設置も可能

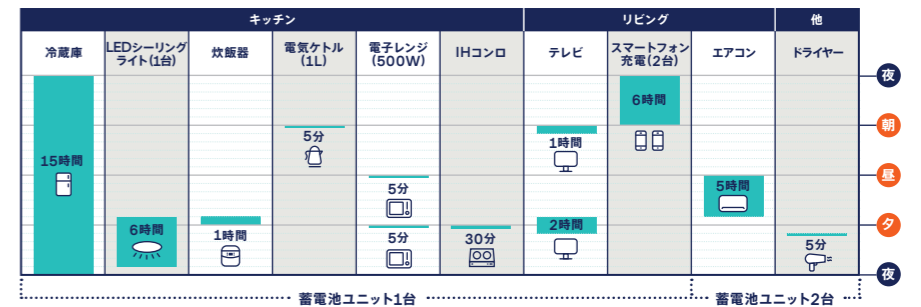
高耐食性能・アルミキャビネット採用のため、蓄電池ユニットは屋外設置ができます。
*直接塩水のかかる場所への設置は不可。

停電時の使用電力

つかえる電力が多く、停電時でも安心

大容量の蓄電システムで最大3kVA*使用することができます。さらに夜に備えて、最大3kWを蓄電池ユニットに充電*2することができます。またハイブリッド蓄電システムは、自動で自立運転に切り替わるため、停電などの緊急時に運転方法がわからないというトラブルを避ける事ができます。つかえる電力も多く、日中でもムダなく、たくさん使えて、たっぷり貯められます。(右図)

- *1 実際の電力量は、太陽光発電量・電気機器の接続・使用状況によります。
- *2 実際の充電量は太陽光発電量・蓄電池ユニットの状態により変わります。
- * 電化製品の消費電力が自立運転時最大出力を超える場合は、自立運転出力は停止します。
- * 冷蔵庫やエアコン、洗濯機などモーターで動作する機器や運転開始時に大きな電流が流れる温水洗浄便座などは使用できない場合があります。
- * 自立運転時、すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器、パソコン・ワープロなどの情報機器、その他途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器は接続しないでください。



システム構成機器

ES6JB1:シングルバッテリーシステム(蓄電池ユニット 1台)

*HQSJ-F-N2Kは日東工業製になります。必須オプションです。



E6J

BX_6.0

PPM R4J_101

PPM P1J-0B5-PPM N4J_100

HQJS-F-N2K[※]

蓄電システム

製品ラインナップ

KPBP-Aシリーズ

単機能 特定負荷型 全負荷型 屋内外設置

マルチ蓄電プラットフォーム™

暮らしに合わせて組み合わせる新しい蓄電池

蓄電池ユニットの情報

寸法 (横×高さ×奥行)	490×847×147 (mm)	490×740×295 (mm)	490×1010×295 (mm)
質量 (蓄電池ユニット1台あたり)	約65kg	約102kg	約150kg
蓄電池容量	6.5kWh	9.8kWh	16.4kWh
蓄電池ユニット2台使用	—	—	—

運転時の情報

システム	単機能	ハイブリッド特定負荷型	ハイブリッド全負荷型
200V機器対応	×	×	○
自立運転時の定格出力	2.0kVA	2.0kVA	4.0kVA

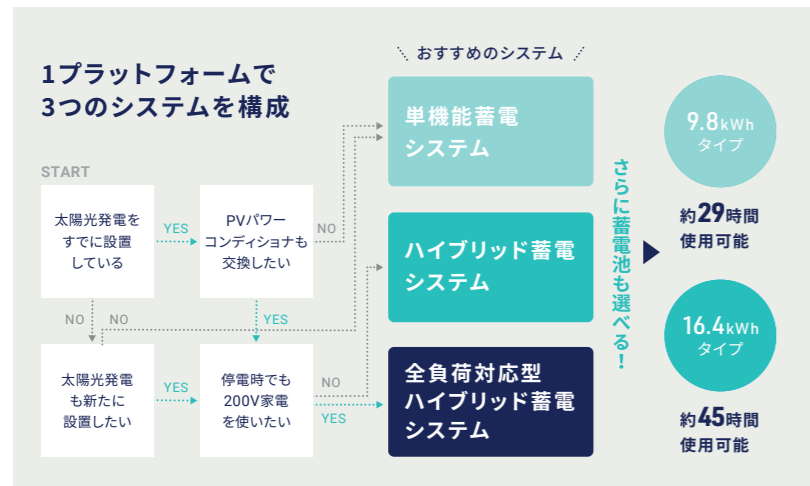


特長

システム構成

ライフスタイル、ニーズに合わせて組み合わせ可能

ご家庭のライフスタイルに合わせて、電気をかきこく貯めて上手に使える新しい暮らしを実現できます。通常時は自家消費や売電でお得に暮らし、万一の停電時もしっかりバックアップできて安心です。太陽光発電やPVパワーコンディショナの設置状況、停電時ニーズに合わせて、柔軟にシステム構築ができます。



システム構成機器

全負荷対応型ハイブリッド蓄電システム 9.8kWhの場合

※電力計測ユニット(KP-GWAP-MUBP)は、オプションです。



自動調整

AIが気象情報から充電量を自動調整

翌日が晴れの場合 翌日が雨の場合 気象警報発令時



太陽光発電量が増えるため、充電量を減らします。



太陽光発電量が減るため、充電量を増やします。



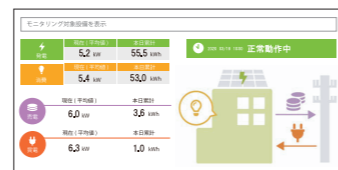
万々に備え、満充電になるよう充電量を増やします。



スマホで簡単

遠隔で発電量や蓄電量を確認可能

パソコンやスマートフォンから追加機器なしで発電量や蓄電量の確認ができます。異常時にはメールでお知らせし、万一の故障時も迅速に対処可能です。

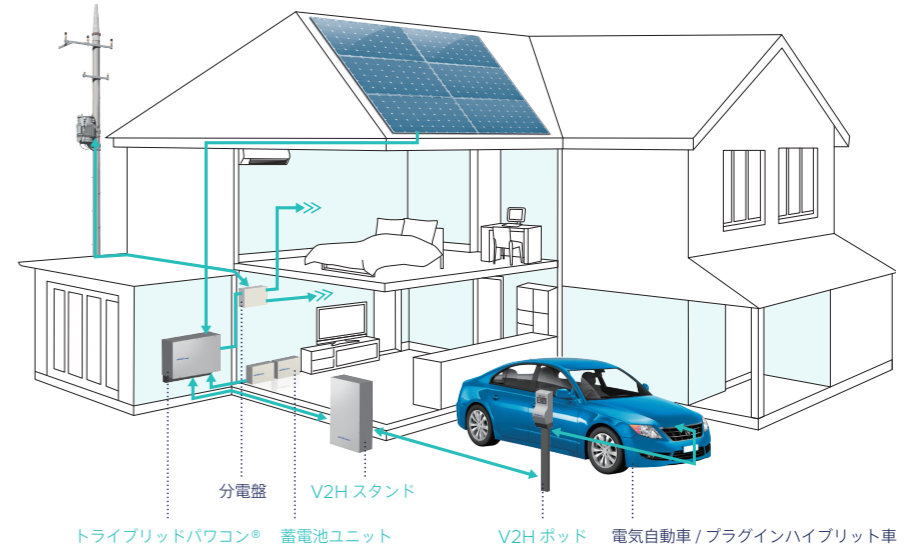


新しくなったトライブリッド蓄電システム®

NEW 次世代のエネルギーライフ

大きな変化を迎える社会とともに、住まいのエネルギーにも変革を。トライブリッド蓄電システム®が先進的な機能はそのままに、さらに使いやすく、さらにパワーアップして生まれ変わりました。太陽光発電も、蓄電池も、電気自動車も、これ1台でまとめてOK。次世代の家庭のエネルギーマネジメントの中心に、なくてはならない革新的なシステムです。

トライブリッド蓄電システム® 設置イメージ



あらゆる人に、さまざまな暮らしに。

蓄電池やV2Hスタンドを後から追加できるので、家族の人数や暮らしに合わせてシステムをカスタマイズできます。

もしもの停電も、電気を使えるから安心。

災害などで停電したときも蓄電システムがあれば、蓄えておいた電気が使えます。さらに、V2Hスタンドがあれば電気自動車にためた電気も使うことができるので、長期間の停電でも安心。

いつものドライブは太陽光発電で。

クルマのエネルギーも自給自足が可能です。V2Hだけではなく蓄電池とセットで設置すれば、昼間に電気自動車が自宅になくても大丈夫。

発電を使い切る「家産家消」の暮らし方へ。

売電価格が低下している中、自家消費がお得に。余剰電力を売電する暮らしと自宅で使う暮らしを比較してよりお得に活用することができます。

トライブリッドパワコン® (ES-T3)
連系出力5.9kW、自立出力5.9kVAのパワフルな出力に加え、待望の全負荷200Vを標準搭載しています。

V2Hスタンド・V2Hポッド (ES-T3P1/ES-T3PL1・ES-T3V1)
標準5.9kW＋拡張充電9.9kWで、普通充電設備に対して最大3倍のハイスピード拡張充電を実現。大容量化する電気自動車に対応しています。電気自動車の傍らにはコンパクトなポッドを設置できるセパレート型が登場。

蓄電池ユニット/増設ユニット (ES-T3M1/ES-T3X1) (ES-T3S1/ES-T3L1)
大容量から小容量まで幅広い容量ラインナップ。しかも、後から増設も可能。室内にも屋外にも設置可能な蓄電池ユニットです。

リモコン (ES-R6)
ネットワーク接続で、システムアップデートやAI自動制御などさまざまなサービスに対応。カラータッチパネルで直感的にコントロールできます。

保証

Qセルズは国内最高レベルで安心をご提供いたします。

Qセルズは、高い品質の製品に加えて、充実した保証制度を設けております。
Qセルズ太陽電池モジュールの出力を保証する「25年長期出力保証」や、システムを保証する「15年長期システム保証」などで、お客様に信頼と安心をご提供いたしますので、長くご使用いただけます。

システム保証

Qセルズは国内最高レベルの15年長期安心システム保証(無償)により、お客様に信頼と安心をお届けします。

太陽光発電システム

15年

対象

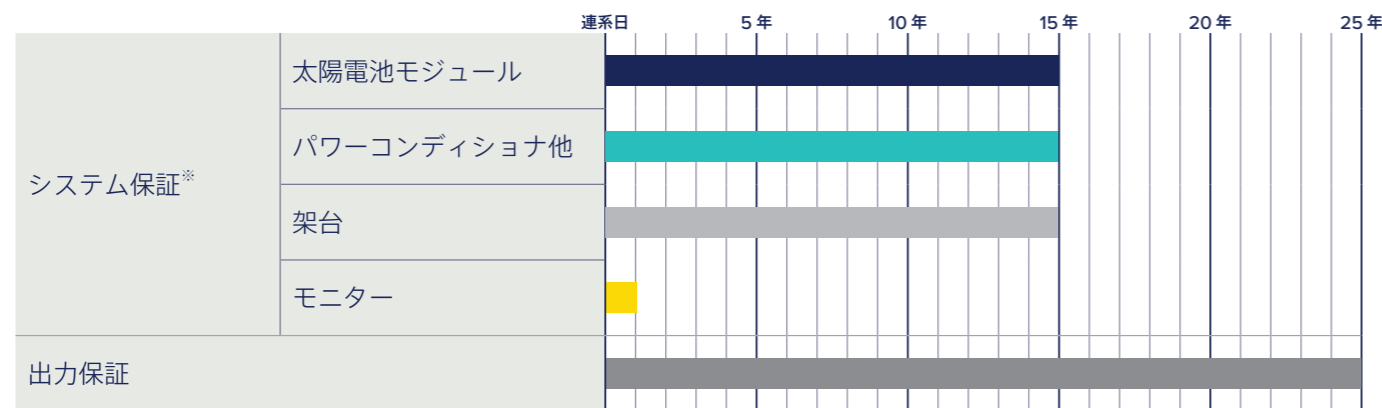
・設備容量50kW未満の太陽光発電システム

保証内容

系統連系日から15年間、Qセルズが販売したシステム保証対象製品に製造上の不具合または欠陥が見つかった場合、修理または交換を行います。

※単相システムのみ。三相システムは機種により10年/15年となります。
※当社販売品であっても、以下の商品はシステム保証には含まれません。それぞれのメーカー保証になります。スマートHEMS AISEG2(パナソニック製):1年/
モバイルバックRS(NTTスマイルエナジー製):1年/
電力切替ユニット(パナソニック製):1年/特定負荷用分電盤(日東工業製):2年など
※保証条件は、Qセルズの施工研修を修了した施工ID保有者による設置工事が必要です。保証の適用には太陽光発電システム設置後、保証申請が必要です。

太陽光発電システム



※設備容量 10kW 未満は 2016 年 4 月 1 日出荷以降の商品、設備容量 10kW 以上 50kW 未満は 2016 年 5 月 1 日出荷以降の商品が対象。三相システムは機種により 10 年/15 年となります。
※災害補償は販売店へ事前にご確認ください。

システム保証

Qセルズは国内最高レベルの15年長期安心システム保証(無償)により、お客様に信頼と安心をお届けします。

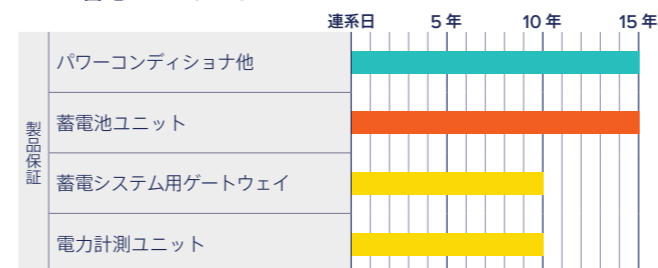
蓄電システム
最長[※]
15年

※製品によって10年保証があります。下の表をご確認ください。

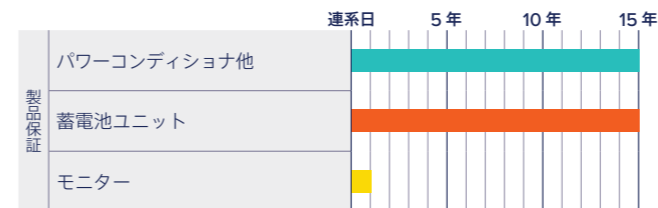
蓄電システム

単品購入(Qセルズ太陽電池モジュール無し)の場合の保証開始日は、連系日または当社から販売店様への納品日から90日後のいずれか早い方となります。POWER DEPO® Hの保証開始日は蓄電システムの工事完了日または当社から販売店様への納品日から90日後のいずれか早い方となります。

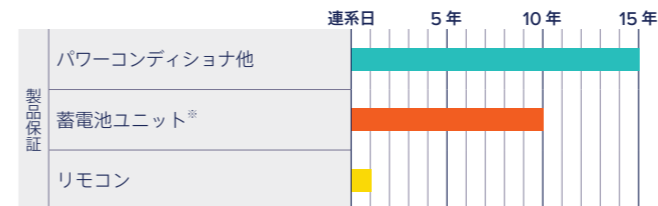
マルチ蓄電プラットフォーム™



EIBS7

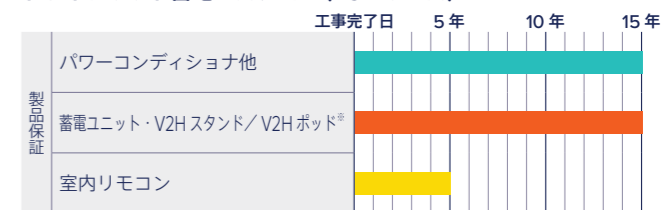


SAVeR-H



※有償の場合は蓄電池ユニットが15年保証となります。単品購入(Qセルズ太陽電池モジュール無し)の場合はパワーコンディショナは10年保証となります。

トライブリッド蓄電システム® (T3シリーズ)



保証はニチコン株式会社による保証となります。
※V2Hの充放電ガンとケーブル(消耗品)は10年間の保証となります。
10年間の自然災害補償が付きます。(パワーコンディショナと同時設置の機器のみ対象、後からの増設機器は対象外です。販売店様からニチコン災害補償事務局への案件通知されていることが条件となります。)

POWER DEPO® H



保証は住友電気工業株式会社による保証となります。

その他



※販売店へ事前にご確認ください。
※1 太陽光発電用パワーコンディショナでも、ハイブリッドパワーコンディショナでも対象です。三相システムは機種により10年/15年となります。

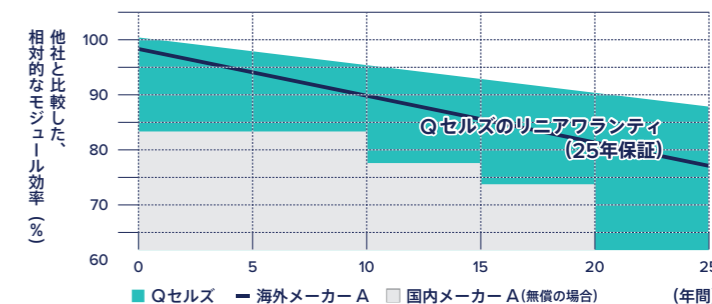
上記の保証年数は代表的な機器の保証年数を記載しています。付属する機器により保証年数が異なるものがございます。

出力保証

太陽電池モジュールの出力性能を、25年もの長期間保証いたします。他メーカーと比較しても、Qセルズは高い出力保証を実現しています。

25年

一般的な日本メーカー製品は、10年目まで公称最大出力の出力下限値[※]の90%以上を保証していますが、QセルズのQ.PEAK DUO-G11 シリーズは、初年度98%を保証。2年目以降は毎年0.5%の出力低下を下限に出力を保証いたします。出力保証を1年単位で区切っている他のメーカーと比較しても、Qセルズは高い出力保証を実現しています。
※JIS C 8918に示された出力下限値:公称最大出力の90%




架台 & 設置金具

強度に優れた多様な設置金具で、日本の屋根にフレキシブルに対応

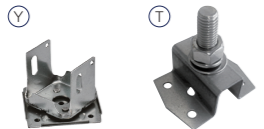
・金具①は高島(株)製、金具②は(株)屋根技術研究所製、金具③は(株)ガイドーハント製、金具④は(株)栄信製です。

屋根材



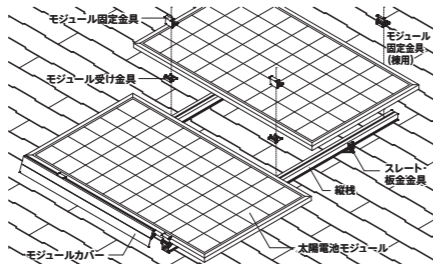
スレート

設置方式

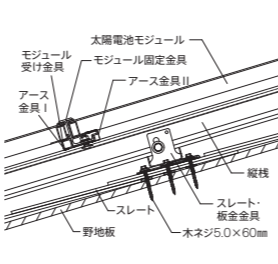


スレート・板金金具


設置イメージ



設置断面図

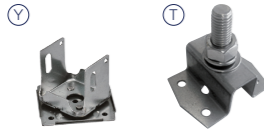


屋根材



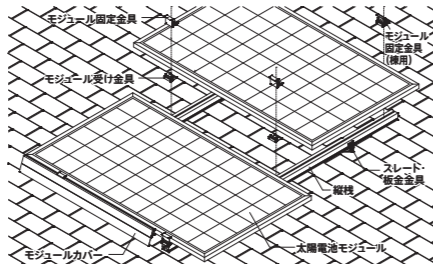
アスファルトシングル

設置方式

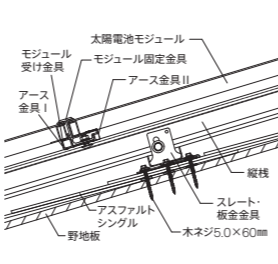


スレート・板金金具


設置イメージ



設置断面図

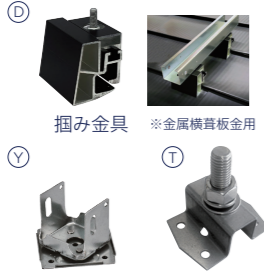


屋根材



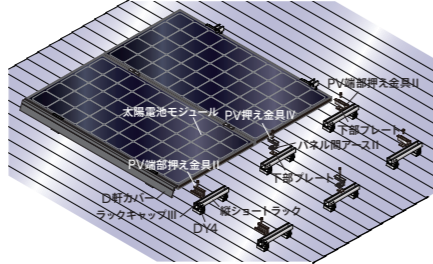
金属縦葺板金
金属横葺板金
金属瓦棒

設置方式

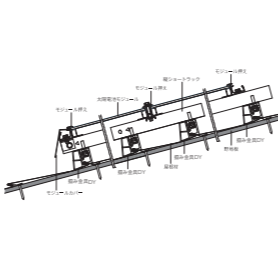


掴み金具 ※金属横葺板金用
スレート・板金金具


設置イメージ



設置断面図

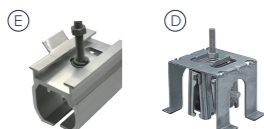


屋根材



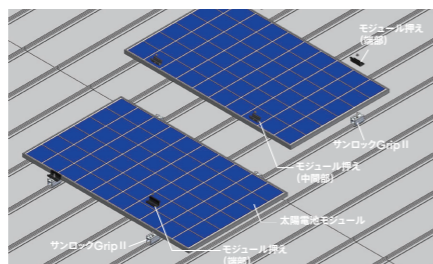
金属縦葺板金

設置方式

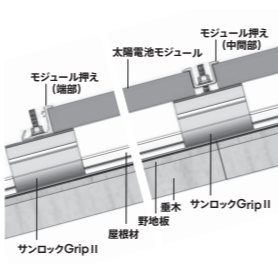


掴み金具

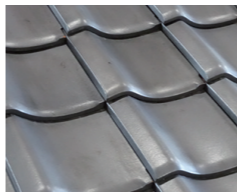
設置イメージ



設置断面図

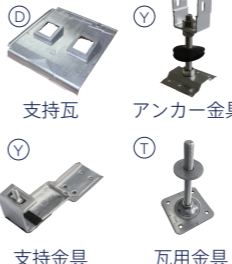


屋根材



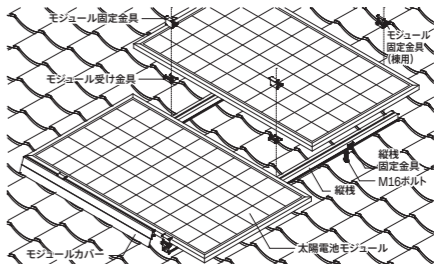
和瓦

設置方式

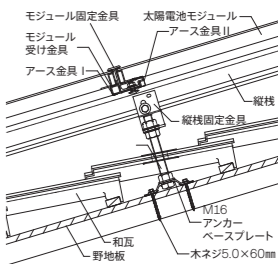


支持瓦
支持金具
アンカー金具
瓦用金具

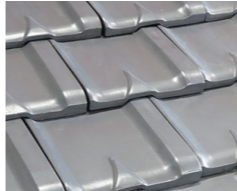
設置イメージ



設置断面図




屋根材



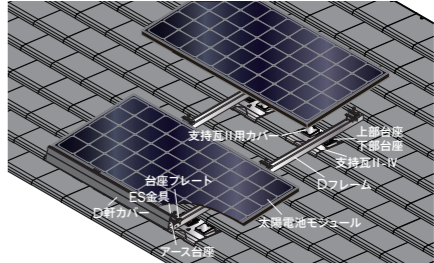
平板瓦

設置方式

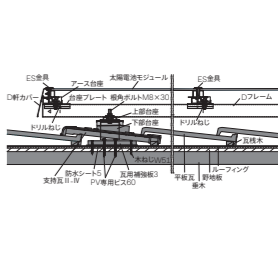


支持瓦
支持金具
アンカー金具
瓦用金具


設置イメージ



設置断面図




屋根材



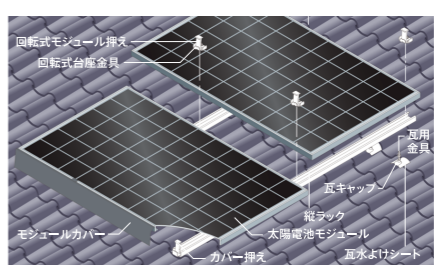
S瓦

設置方式

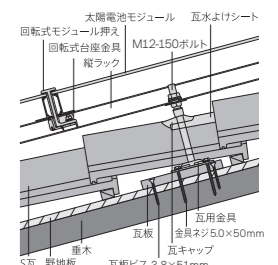


アンカー金具
支持金具
瓦用金具

設置イメージ



設置断面図



※画像、設置イメージはすべてイメージです。
 ※最大13m以下の建物に設置が可能です。詳しくは販売店または当社までお問い合わせください。
 ※太陽電池モジュールの上に雪が積もると、一般の屋根と比べ雪が滑りやすく、周辺の器物等に損傷を与える恐れがあります。
 ※必要に応じ雪止め金具(オプション)を取り付けてください。
 ※雪止め金具を設置できない場合があります。詳しくは販売店または当社までお問い合わせください。
 ※上記設置工法以外にも設置工法・金具をご用意しております。詳しくは販売店または当社までお問い合わせください。
 ※お住まいの地域、築年数、屋根材の状態などにより、設置できない場合があります。
 ※設置周囲における汚れ、サビなどの不具合には対応できません。設置前に必ず販売店による設置対象屋根の状況確認をお願いします。

風圧荷重に対する設置基準

設置地域の基準風速が最大 40m/s までは設置可能です。
 ※設置条件により異なります。詳しくは、販売店または当社までお問い合わせください。
 ※JIS C 8955:2017に準拠。

積雪地域にもしっかり対応

Q.PEAK DUO-G9
 最大 210cm (屋根技研スレート・板金金具 (金属屋根限定))

Q.PEAK DUO M-G11
 最大 230cm (屋根技研スレート・板金金具 (金属屋根限定))

Q.PEAK DUO S-G11
 最大 220cm (高島瓦用金具、パワーベース、スレート金具)

※屋根材の許容積雪量基準は屋根材メーカーにお問い合わせください。
 ※建築基準法施行令第86条第3項に基づき規定された垂直積雪量は、現場を管轄している特定行政庁にお問い合わせください。垂直積雪量は特定行政庁の判断により更新されることがあります。

日本全国のいろんなお宅で 「いいね、Qセルズ！」

全国各地の年間推定発電量

※各都市での年間予測発電量は、(Q,PEAK DUO M-G11/5.6kWシステム(公称最大出力400W 14枚)/真南/傾斜角度30度/パワーコンディショナ変換効率96%)で設置の場合
 ※公称最大出力は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池モジュールの出力です。(JIS標準試験条件:AM1.5、日射強度1kW/m²、モジュール温度25℃)
 ※気象データはNEDOの全国日射関連データ(1981~2009年の29年間の観測値)の日射データを使用しています。
 ※太陽電池モジュールの温度損失はJPEAの自主ルールに基づいています。12月~3月:6.8%、4月~5月:10.2%、6月~9月:13.6%、10月~11月:10.2%
 ※実使用時の出力(発電電力)は、日射しの強さ、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差、及び温度条件により異なります。実発電力は最大でも太陽電池容量の70~80%程度になります。
 ※本シミュレーション結果は実際の設置時の発電量を保証するものではありません。あくまでも目安として利用してください。
 ※降雪による影響は考慮していません。



01



**北向きの屋根でも
予想以上の発電を実現。
家計に貢献！子育ても安心！**



青森県八戸市 S様 夫婦+子ども1人

子どもが生まれたこともあり、オール電化の家で年々上がっていく電気代の不安もあったため、詳しいお話を聞くことに。設置にかかる費用と光熱費や売電料金などとの比較をはじめ、停電時の備えとしてのメリットや、システムの仕組み・保証期間についてなど、大変わかりやすい説明を聞き、それなら太陽光パネルを付けられない理由がないとなり、導入を決めました。この頃は一日中、エアコンはつけていますが、それでも昼間の発電で蓄電池は満タンになる上、かなり多くの量が売電にも回っている状況です。うちは小さな子どもと猫も暮らしているので、太陽光発電だけでなく蓄電池もあることで、非常時の備えとしての安心感は、以前までとまったく違いますね！

04



**安心して電気をつかえる喜びを
これからも。**



埼玉県さいたま市 I様 夫婦

千葉で台風によって起きた災害(2019年9月)では、停電がすごく長期になり、大変なご不便をされていますよね。でも、うちは太陽光発電と蓄電システムがあるので安心感があります。今回、蓄電池ユニットは「全負荷型」というタイプで、停電時に選んでいた場所の電気しかつかえなくなる「特定負荷型」と違い、家中どこでも電気でも使用できるとお聞きしました。どこの電気がつかえないと困るか、実際に停電しないとわからないので、つかえる電気機器を選んでおかなくてよいというのも安心です。あとは、太陽電池モジュールの耐用年数が気になるのですが、Qセルズには15年のシステム保証や、出力の低下に関する保証があるので心配していません。子どもたちが、売却したらその方たちに、壊れず長く役立って欲しいと思っています。

02



**電気も、
自分たちでつくる
よろこび。**



岩手県八幡平市 K様 夫婦

エコロジーに関心があり、自給自足生活に憧れていることも、導入理由としてありました。自分たちでお米や野菜をつくられていることから「電気も自分たちでまかなえたら」と。他の人に頼らず、自分でつくったもので生活できる、ということに安心を感じます。停電の際にも役立つでしょう。天気がいい日は「よし、今日はたくさん発電しているだろう」と、仕事中でも意識してしまいますね(笑)。毎日、帰宅するとメーターの発電実績をチェックしています。メーターはグラフ表示などもあって見やすく、数値を比較できるのもいいですね。

05



**「曇り発電力」のすごさ。
家計を助ける
発電量を実感。**



愛媛県松山市 I様 夫婦+子ども2人

決定打になったのは、曇りの日にも強いところ。保証年数も長く、私たち夫婦のように20代で設置する世帯にはとても安心だと感じました。一番心配したのは初期費用。発電量については、シミュレーションしてもらいましたが、実際に売電でどのくらいまかなえるかなど、正直不安はありました。でも、結果として今では家計を助けてくれています。冬はエアコンと電気カーペット、夏は子供がまだ小さいこともあって、熱中症にならないようにエアコンと扇風機を同時に使用しているので、オール電化ということ以上に、家電製品に頼る生活なので。

03



**節約のプレッシャーや
停電時の不安から
解放されました。**



宮城県七ヶ浜町 H様 夫婦+子ども2人

導入前と同じように生活していて、これだけ電気料金の削減につながっているのが、「節電しなきゃ」というプレッシャーから解放されました。そして、電気を蓄えておけると、停電しても安心です。もしものときはオール電化なので、電気がないと何もできません。さらに、真っ暗な中での自宅生活や、避難所生活となれば、小さな子どもにとって大きなストレスとなるでしょう。本当に導入してよかったと思っています。

06



**大満足の発電量で、
子供にとっても安心な環境に。
お小遣いも増えました。**



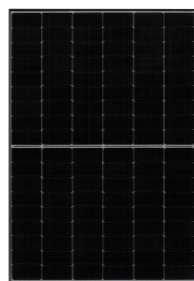
福岡県大牟田市 D様 夫婦+子ども1人

発電量は、設置前に期待していた通りで、とても満足しています。うちは小さい子供がいるので、部屋の温度にはものすごく気を使います。温度調整のため夏はクーラー、冬は暖房をかなり使用しますが、特に日中は自家発電でほぼすべてまかなえていますね。また、電気料金を抑えられた分、お小遣いも増えるという恩恵にあずかっています。今は発電モニターや電気料金の明細書を見るのが楽しくて仕方ありませんね(笑)。ちなみに、近所と同じタイミングでQセルズをつけた方がいて、そのお宅でも満足いく発電量だとおっしゃっていました。

製品仕様

太陽電池モジュール

型名	Q.PEAK DUO M-G11 395	Q.PEAK DUO M-G11 400
公称最大出力 (Pmax) (+5W/-0W)	395W	400W
公称短絡電流 (Isc)	13.50A	13.54A
公称開放電圧 (Voc)	3713V	3716V
公称最大出力動作電流 (Ipm)	12.83A	12.9A
公称最大出力動作電圧 (Vpm)	30.78V	31V
モジュール変換効率*	20.6%	20.8%
セル種類	単結晶Q.ANTUMハーフセル	
セル枚数	18×6	
寸法(横×高さ×奥行)	1,134×1,692×32 (mm)	
質量	20.9kg	
最大システム電圧 (Vsys)	1,000V	
最大耐風圧荷重 / 最大耐積雪荷重	3,600Pa / 5,400Pa	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥373,670	¥378,400



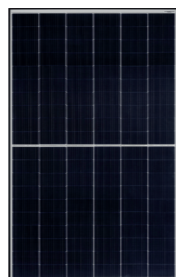
Q.PEAK DUO M-G11 395
Q.PEAK DUO M-G11 400

型名	Q.PEAK DUO S-G11 260	Q.PEAK DUO S-G11 265
公称最大出力 (Pmax) (+10W/-0W)	260W	265W
公称短絡電流 (Isc)	13.47A	13.53A
公称開放電圧 (Voc)	24.75V	24.78V
公称最大出力動作電流 (Ipm)	12.78A	12.88A
公称最大出力動作電圧 (Vpm)	20.35V	20.57V
モジュール変換効率*	20.1%	20.4%
セル種類	単結晶Q.ANTUMハーフセル	
セル枚数	18×4	
寸法(横×高さ×奥行)	766×1,692×32 (mm)	
質量	14.8kg	
最大システム電圧 (Vsys)	1,000V	
最大耐風圧荷重 / 最大耐積雪荷重	3,600Pa / 5,400Pa	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥248,820	¥253,605



Q.PEAK DUO S-G11 260
Q.PEAK DUO S-G11 265

型名	Q.PEAK DUO-G9 350	Q.PEAK DUO-G9 355
公称最大出力 (Pmax) (+5W/-0W)	350W	355W
公称短絡電流 (Isc)	10.68A	10.71A
公称開放電圧 (Voc)	40.94V	40.97V
公称最大出力動作電流 (Ipm)	10.2A	10.26A
公称最大出力動作電圧 (Vpm)	34.31V	34.58V
モジュール変換効率*	20.3%	20.6%
セル種類	単結晶Q.ANTUMハーフセル	
セル枚数	20×6	
寸法(横×高さ×奥行)	1,030×1,673×32 (mm)	
質量	19.0kg	
最大システム電圧 (Vsys)	1,000V	
最大耐風圧荷重 / 最大耐積雪荷重	4,000Pa / 5,400Pa	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥331,100	¥335,830



Q.PEAK DUO-G9 350
Q.PEAK DUO-G9 355

型名	Q.PEAK DUO MS-G9 230	Q.PEAK DUO MS-G9 235
公称最大出力 (Pmax) (+10W/-0W)	230W	235W
公称短絡電流 (Isc)	10.64A	10.69A
公称開放電圧 (Voc)	27.27V	27.30V
公称最大出力動作電流 (Ipm)	10.14A	10.23A
公称最大出力動作電圧 (Vpm)	22.69V	22.96V
モジュール変換効率*	19.6%	20.1%
セル種類	単結晶Q.ANTUMハーフセル	
セル枚数	20×4	
寸法(横×高さ×奥行)	700×1,673×32 (mm)	
質量	13.7kg	
最大システム電圧 (Vsys)	1,000V	
最大耐風圧荷重 / 最大耐積雪荷重	4,000Pa / 5,400Pa	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥220,110	¥224,895



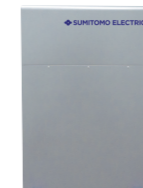
Q.PEAK DUO MS-G9 230
Q.PEAK DUO MS-G9 235

標準テスト条件 (STC : 1000W/m², 25 ± 2°C, AM 1.5 スペクトル) での性能 [STC の出力誤差 : ± 3% (Pm) ; ± 5% (Isc, Voc, Ipm, Vpm)]
*モジュール変換効率 (%) = 公称最大出力 (W) ÷ (モジュール外形寸法 (m²) × 放射照度 (W/m²)) × 100

家庭用高機能ハイブリッド蓄電システム POWER DEPO® H (住友電気工業製)

蓄電システム本体

型名	PDH-6000S01
種類	リチウムイオン電池
蓄電池 蓄電容量	12.8kWh
定格電圧	DC約200V
回路数(太陽光)	4回路 1回路あたり2.2kW
最大電流(太陽光)	短絡耐量:15A 動作電流:14A
出力 連系出力	6.0kVA
自立出力	6.0kVA
対応負荷容量	75A
充電回復時間	最速約2時間
動作温度 ^{※1}	-20℃~+45℃
動作湿度	15~90%RH
設置場所 ^{※2}	屋外
外形寸法	840×380×1,200 (mm) (脚部の奥行は400mm)
重量	約230kg
メーカー希望小売価格 (税込)	¥4,598,000



PDH-6000S01

リモコン

型名	RCS-6000SHB
外観	液晶(バックライト有り)、タッチパネル
動作温度	周囲温度 -10~40℃
設置場所	屋内
外形寸法	100×21×130 (mm)
重量	約180g (取付け部材を含む)
通信機能	無線LAN (IEEE802.11b/g/n) 2.4GHz
通信プロトコル ^{※3}	ECHONET Lite (Ver.113, APPENDIX M)



RCS-6000SHB

※1 本体に内蔵された温度センサ計測値。周囲温度により出力を抑制する場合があります。

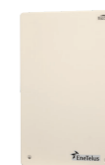
※2 屋外の場合は、重塩害・塩害地域や省エネルギー基準区分8地域を除く。

※3 ECHONET, ECHONET Lite は、一般社団法人エコーネットコンソーシアムの商標または登録商標です。

ハイブリッド蓄電システム EIBS7 (ダイヤゼブラ電機製[※])

ハイブリッドパワーコンディショナ

型名	EHF-S55MP3B	EHF-S99MP5B
定格入力電圧	DC300V	
直流入力 運転可能電圧範囲	DC30~450V	
入力回路数	3回路 (3MPPT)	5回路 (5MPPT)
定格容量	5.5kW	9.9kW
交流出力 定格電力変換効率	96% (JIS C8961に準拠)	
絶縁方式	トランスレス方式	
電気方式 (交流出力)	単相3線式AC202V	
自立運転時の定格出力電力	200V時 5.5kVA 100V時 2.75kVA	
使用周囲温度	-20~+45℃ (氷結・結露なきこと)	
寸法(横×高さ×奥行)	445×698×198 (mm)	
質量	約30kg	約33kg
設置場所	屋内、屋外(壁固定)	



EHF-S55MP3B
EHF-S99MP5B

電源切替ボックス

型名	FPCD-DS63M6
定格入力電圧	単相3線式 AC100/200V
定格電流	系統側 60A, 自立出力側 55A
寸法(横×高さ×奥行)	280×325×124 (mm)
質量	約3.2kg
設置場所	屋内(壁固定)



FPCD-DS63M6

蓄電池ユニット

型名	EOF-LB70-TK
蓄電池容量	7.04kWh
種類	リチウムイオン電池
使用周囲温度	-10~+45℃
寸法(横×高さ×奥行)	580×1070×370 (mm)
質量	約130kg
設置場所	屋内、屋外
蓄電池ユニットは1台/2台からお選びいただけます。 蓄電池ユニット台数1台 蓄電池容量7.04kWh 蓄電池ユニット台数2台 蓄電池容量14.08kWh	
※旧田淵電機	



EOF-LB70-TK

オプション 表示モニター

型名	ZDIS-27ENB01
表示画面	2.7インチモノクロ液晶
表示	発電、消費、売電/買電、充電など
電源	DC15V
消費電力	1W
寸法(横×高さ×奥行)	142.6×127.6×24.5 (mm)
質量	約240g
設置方式	壁固定(屋内のみ)



ZDIS-27ENB01

製品仕様

ハイブリッド蓄電システム SAVeR-H (デルタ電子製)

ハイブリッドパワーコンディショナ

型名	E6J
定格入力電圧	DC300V
運転可能電圧範囲	DC30~450V
入力回路数	3回路(各回路ごとにMPPT制御)
定格容量	5.9kW
交流出力	定格電力変換効率 96%(JIS C8961に準拠)
絶縁方式	トランスレス方式
電気方式(交流出力)	単相3線式 AC202V
自立運転時の定格出力電力	200V時 3.0kVA 100V時 1.5kVA
使用周囲温度	-25~+60°C(氷結・結露なきこと)
寸法(横×高さ×奥行)	510×448×177(mm)
質量	約27kg(取付金具含まず)
設置場所	屋外(壁固定)



E6J

パワーモニター

型名	PPM R4J_101
表示画面	7インチカラー液晶ディスプレイ(タッチパネル)
表示	発電、消費、売電/買電、充放電 など
電源	AC100V(専用ACアダプタ使用)
消費電力	10W以下
寸法(横×高さ×奥行)	190×120×32(mm)
質量	約440g
設置方式	据え置き、壁固定(屋内のみ)



PPM R4J_101

出力制御対応(すべての電力会社管内で使用可)

必須オプション 全負荷切替盤 (感震センサー付) (日東工業製)

型名	HQJS-F-N2K
定格入力電圧	単相3線式 AC100/200V
定格電流	系統側 60A、自立出力側 30A
自立側サーキットブレーカー	感震機能付きサーキットブレーカー(感震センサー内蔵)
寸法(横×高さ×奥行)	536×325×124(mm)
質量	約6.4kg
設置場所	屋内(壁固定)



HQJS-F-N2K

リチウムイオン蓄電システム (京セラ製)

蓄電池ユニット

型名	LBS-0500
蓄電池容量	5.0kWh
種類	リチウムイオン電池
使用周囲温度	-20~+40°C
寸法(横×高さ×奥行)	485×562×280(mm)
質量	64kg
設置場所	屋内外設置(重塩害地域及び-20°C以下の寒冷地は屋内のみ)
メーカー希望小売価格	¥2,310,000



LBS-0500

リモコン

型名	TRM01
表示	5.0インチ カラー液晶
操作	タッチパネル方式
使用周囲温度	0~+40°C
設置場所	屋内(壁面設置)
寸法(横×高さ×奥行)	170×151×24(mm)
質量	375g



TRM01

通信モデム

型式	CML001G
通信方式	LTE™ カテゴリー1
消費電力	2.5W
使用周囲温度	0~+40°C
設置場所	屋内(壁面設置)
寸法(横×高さ×奥行)	138×65×17(mm)
質量	85g



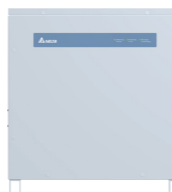
CML001G

蓄電池ユニット

型名	BX_6.0
蓄電池容量	5.6kWh
種類	リチウムイオン電池
使用周囲温度	0~+45°C(氷結・結露なきこと)
寸法(横×高さ×奥行)	552×596×200(mm)
質量	約75kg(取付金具含まず)
設置場所	屋外(壁固定)、屋内(据え置き)

※蓄電池ユニットは1台/2台からお選びいただけます。
パッケージ型番 ES6JB1:蓄電池ユニット台数1台 蓄電池容量5.6kWh
パッケージ型番 ES6JB2:蓄電池ユニット台数2台 蓄電池容量11.2kWh

※寒冷地では、充放電抑止特性の関係上、屋内設置を推奨します。



BX_6.0

計測・通信ユニット

型名	PPM P1J-0B5/PPM N4J_100
データ通信方式	有線(ハイブリッドパワーコンディショナ⇔計測・通信ユニット) 有線(計測・通信ユニット⇔パワーモニター)
電源	単相3線式 100V/200V
消費電力	3.0W以下
寸法(横×高さ×奥行)	75.3×93×66.5(mm)
質量	約188g
設置方式	壁固定(屋内のみ)



PPM P1J-0B5-
PPM N4J_100

NEW トライブリッド蓄電システム® (ニチコン製)

トライブリッドパワコン®

型名	ES-T3
外形寸法	W685×H648×D239mm
本体質量	44kg(取付金具含まず)
系統連系出力	電気方式 単相2線式(接続は単相3線式) 定格出力 5.9kW
自立出力	電気方式 単相3線式 定格出力 5.9kVA(片相:3.0kVA)
制御方式	最大電力点追従制御(MPPT)
入力回路数	4回路
太陽光発電入力	開放電圧(接続可能上限値) DC50~DC450V / 1回路 ^{※1} MPPT制御可能電圧範囲 DC50~DC425V / 1回路
変換効率(系統連系時)	太陽光(放電時) 95%(定格出力時) ^{※2}
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式
設置環境	設置条件 屋外、標高2,000m以下 -30~+45°C、重塩害非対応 ※南側設置不可
動作温度	-20~+40°C



ES-T3

蓄電池ユニット/増設ユニット

型名	ES-T3S1/ES-T3L1
外形寸法	W540×H418×D230mm
本体質量	50kg
蓄電池公称容量	ES-T3S1: 4.9kWh ES-T3S1+ES-T3L1: 9.9kWh
電池種類	リチウムイオン蓄電池
設置環境	設置条件 標高2,000m以下 室内、-10~+45°C、結露なきこと 屋外 ^{※3※4} 、-10~+45°C、重塩害非対応
動作温度	-10~+40°C



ES-T3S1/ES-T3L1

蓄電池ユニット/増設ユニット

型名	ES-T3M1/ES-T3X1
外形寸法	W540×H418×D230mm
本体質量	61kg
蓄電池公称容量	ES-T3M1: 7.4kWh ES-T3M1+ES-T3X1: 14.9kWh
電池種類	リチウムイオン蓄電池
設置環境	設置条件 標高2,000m以下 室内、-10~+45°C、結露なきこと 屋外 ^{※3※4} 、-10~+45°C、重塩害非対応
動作温度	-10~+40°C



ES-T3M1/ES-T3X1

V2Hスタンド(セパレート型)&V2Hポッド V2Hスタンド(一体型)

型名	ES-T3P1	ES-T3PL1	ES-T3V1
外形寸法	V2Hスタンド W520×H1180×D260mm(突起部含まず) V2Hポッド W170×H430×D173mm(突起部含まず)	W520×H1180×D260mm(突起部/充放電コネクタ含まず)	W520×H1180×D260mm(突起部/充放電コネクタ含まず)
本体質量	V2Hスタンド 61kg V2Hポッド 6.8kg	61kg	69kg
充放電コネクタケーブル長	3.5m	7.5m	—
電気方式	単相2線式(接続は単相3線式)	—	—
充電部(系統連系時)	定格電圧 AC202 V±12V 定格周波数 50または60Hz 出力電力 6kW未満 ^{※5} (拡張充電時:最大9.9kW ^{※6})	—	—
電気方式	単相2線式(連系は単相3線式)	—	—
放電部(系統連系時)	定格電圧 AC202 V±12V 定格周波数 50または60Hz AC出力電力 5.9kW ^{※7}	—	—
放電部(自立時)	電気方式 単相3線式 定格電圧 AC202 V±12V 定格周波数 50または60Hz AC出力電力 5.9kVA(片相:3.0kVA) ^{※7}	—	—
設置環境	設置条件 屋外、標高2,000m以下 -30~+45°C、重塩害非対応	—	—
動作温度	-20~+40°C	—	—



ES-T3P1/ES-T3PL1
※ポールは別売りです。



ES-T3V1

室内リモコン

型名	ES-R6
外形寸法	W170×H140×D23mm
本体質量	320g
設置環境	設置条件 室内(0~+40°C、結露なきこと)
動作温度	0~+40°C



ES-R6

- ※1 モジュールの温度特性および直並列接続も含めて満足するようにしてください。これらを満足しない太陽光発電パネルは本製品に接続できません。
- ※2 JIS C 8961に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。
- ※3 屋外設置のためには、蓄電池屋外用ケースが必要です。
- ※4 蓄電池屋外用ケース利用時でも日光が当たる場所には設置できません。
- ※5 機器の入力値のため、実際の充電出力とは異なる場合があります。車両の状態(車種、充電率)、契約電力等により異なる場合があります。
- ※6 車両の状態(車種、充電率)、蓄電池の有無、太陽光の発電電力等によって異なる場合があります。
- ※7 車両の状態(車種、充電率)によって異なる場合があります。

オプション品

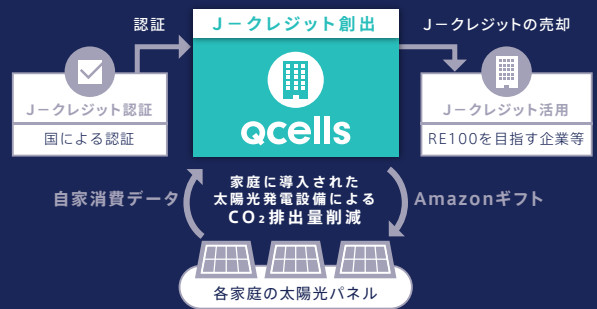
型名	
ES-B6A	T3用専門分電盤(60A)
ES-B7A	T3用専門分電盤(75A)
ES-T3H5	V2Hポッド用ポール

Qcells

CO₂削減プロジェクト・J-クレジット制度について

省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に適用できます。

CO₂削減プロジェクト紹介ページ
<https://www.q-cells.jp/co2project>



お問い合わせは、コチラまで

 0120-322-001

受付時間 9:00~17:00(12:00~13:00を除く)
※土日・祝日および年末年始を除く

ハンファQセルズジャパン株式会社

本社・東京支店 〒108-0014 東京都港区芝4-10-1 ハンファビル / WEB: www.q-cells.jp
大阪支店 〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-6-8 御堂筋ダイワビル8F
名古屋支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-23 ニッタビル2F
福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-6-16 西鉄博多駅前ビル8F
仙台支店 〒980-6119 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER(アエル)19F

Hanwha Q CELLS GmbH Sonnenallee 17-21 06766 Bitterfeld-Wolfen Germany
www.q-cells.com